



東北地域の和食文化メールマガジン

令和5年11月24日（金）第57号



【目次】

1. 東北農政局 震災被災地応援イベント「食べて応援しよう！in 仙台 2024」出店者募集
2. 和食文化国民会議 「ユネスコ無形文化遺産登録 10 周年記念イベント「1204 和食セッション」～次世代に繋ぐ和食の集い～」開催
3. 農林水産省 料理人顕彰制度「料理マスターズ」受賞者決定
4. 農林水産省 「ディスカバー農山漁村（むら）の宝」第 10 回選定の結果公表
5. 農林水産省 「令和 5 年度オーガニックビレッジ全国集会」開催
6. 農林水産省 「米・米粉消費拡大推進プロジェクト」開催中
7. 農林水産省 「全国ジビエフェア 2023」開催中
8. 近畿農政局 令和 5 年度和食・食文化シンポジウム「醤油からみる関西の和食・食文化」開催
9. 農林水産省 令和 5 年度農林水産関係補正予算の概要について
10. 農林水産省 「aff」 11 月号について

=====

1. 東北農政局 震災被災地応援イベント「食べて応援しよう！in 仙台 2024」出店者募集

=====

東北農政局は、東日本大震災からの復興支援として、勾当台公園で被災地（岩手県、宮城県、福島県）の農林水産物や加工食品などを販売するイベント「食べて応援しよう！in 仙台 2024」を開催します！

魅力あふれる被災地の農林水産物を販売する出店者を募集します！

募集期間：令和 5 年 11 月 24 日（金曜日）～令和 6 年 1 月 5 日（金曜日）

イベント開催日：令和 6 年 3 月 16 日（土曜日）、17 日（日曜日）

開催場所：勾当台公園市民広場（仙台市青葉区）

主催：農林水産省東北農政局

【東北農政局HP】イベント出店申込等の詳細はこちらから→

<https://www.maff.go.jp/tohoku/press/keiei/syokuhin/231124.html>

=====

2. 和食文化国民会議 「ユネスコ無形文化遺産登録 10 周年記念イベント「1204 和食セッション」～次世代に繋ぐ和食の集い～」開催

=====

12 月 4 日（月曜日）に和食がユネスコ無形文化遺産登録 10 周年を迎えることを記念し、イベントが開催されます。

参加申込期限：令和 5 年 11 月 29 日（水曜日）※定員になり次第終了（定員：200 名 参加費無料）

日時：令和 5 年 12 月 4 日（月曜日）12：00～17：00（11：30 受付開始）

場所：帝国ホテル（東京都千代田区）

主催：一般社団法人和食文化国民会議

内容：

第一部 講演、パネルディスカッション＜和食と健康シンポジウム：講演＞

①「和食が心身の健康に及ぼす影響」東北大学大学院医学系研究科名誉教授 辻 一郎 氏

②「健康に良い『食』と和食の関係性」医学研究所北野病院理事長／京都大学名誉教授 稲垣 暢也 氏

＜パネルディスカッション＞

「和食の健康価値と可能性」

- ・東北大学大学院医学系研究科名誉教授 辻 一郎 氏
- ・医学研究所北野病院理事長／京都大学名誉教授 稲垣 暢也 氏
- ・和食文化国民会議会長／甲子園大学 学長 伏木 亨 氏

第二部＜体験イベント＞

【「和食」を支える基礎調味料と飲み物】～見て・触って・違いを感じる、味わう、楽しい体験！～

「砂糖」「塩」「酢」「醤油」「日本酒」「日本茶」計 6 ブース

【和食文化国民会議 HP】詳細と申込みはこちらから→

<https://washokujapan.jp/1204session2023/>

=====

3. 農林水産省 料理人顕彰制度「料理マスタース」受賞者決定

=====

日本の「食」、「食文化」等の素晴らしさや奥深さ、更にはその魅力に誇りとこだわりを持ち続ける第 14 回料理人顕彰制度「料理人マスタース」の受賞者が決定しました。

今回は、ゴールド賞 2 名、シルバー賞 3 名、ブロンズ賞 8 名が受賞し、うち東北からは次の 2 名が受賞しました。

＜東北管内受賞者＞

ゴールド賞：奥田 政行 氏 店名「アル・ケッチャーノ」 山形県鶴岡市 イタリア料理

ブロンズ賞：村山 優輔 氏 店名「レストラン パ・マル」 山形県山形市 フランス料理

【農林水産省 HP】詳細はこちらから→

<https://www.maff.go.jp/j/press/shokuhin/gaisyoku/231026.html>

【農林水産省 HP】農林水産省料理人顕彰制度「料理マスタース」の概要はこちらから→

<https://www.maff.go.jp/j/shokusan/gaisyoku/kensyou/attach/pdf/index-36.pdf>

=====

4. 農林水産省 「ディスカバー農山漁村（むら）の宝」第 10 回選定の結果公表

=====

農林水産省は、地域の活性化や所得向上に取り組んでいる優良事例「ディスカバー農山漁村（む

ら)の宝」(第10回選定)に27地区及び2名を選定し、併せて第10回記念賞を選定しました。

<東北管内の第10回選定の3団体>

・岩手県花巻市 高松第三行政区ふるさと地域協議会(荒廃農地対策、農福連携、農村 RMO 関係)

・宮城県石巻市 一般社団法人イシノマキ・ファーム(農福連携、6次産業化、雇用関係)

・福島県喜多方市 本木・早稲谷 堰と里山を守る会(棚田保全、関係人口の創出、環境保全(農

林水産業・食品産業)関係)

<第10回記念賞>

・仙北市農山村体験推進協議会(秋田県仙北市)

【農林水産省 HP】詳細はこちらから→

<https://www.maff.go.jp/j/press/nousin/kouryu/231110.html>

また、令和5年度東北農政局「ディスカバー農山漁村の宝」として7地区及び1名、東北農政局「ディスカバー農山漁村の宝」奨励賞として10地区が選定されました。

【東北農政局 HP】東北農政局選定地区の詳細はこちらから→

<https://www.maff.go.jp/tohoku/press/tosinouson/231110.html>

=====

5. 農林水産省 「令和5年度オーガニックビレッジ全国集会」開催

=====

農林水産省では、みどりの食料システム戦略に掲げた有機農業の取組面積の拡大目標の実現に向けて、市町村主導により、地域ぐるみで有機農産物の生産から消費まで一貫して取り組む「オーガニックビレッジ」を全国各地で創出することとしています。

これまでに、全国91市町村で取組が開始され、取組を開始した市町村から、取組に至った経緯や創意工夫などを紹介いただくとともに、有機農業の拡大に向けた民間団体の先進的な取組を紹介いただき、情報の共有を図る全国集会を開催します。

日時：令和6年1月15日(月曜日)13時30分から17時00分

場所：Web開催(Zoom使用)

主催：農林水産省(共催：一般社団法人日本有機農産物協会)

取組紹介：6市町のうち、山形県川西町の紹介もあります。

参加可能人数：3,000人

申込締切：令和6年1月4日(木曜日)必着

【農林水産省 HP】詳細はこちらから→

<https://www.maff.go.jp/j/press/nousan/kankyo/231116.html>

【農林水産省 HP】傍聴申込はこちらから→

<https://www.contactus.maff.go.jp/j/form/nousan/kankyo/20231116.html>

=====

6. 農林水産省 「米・米粉消費拡大推進プロジェクト」開催中

=====

農林水産省では、「米・米粉消費拡大事業」の一環として「米・米粉消費拡大推進プロジェクト」を行い、国内で自給可能な食料であるお米・米粉の消費拡大を推進しています。

「米・米粉消費拡大推進プロジェクト」は、令和5年11月1日から令和6年2月29日までの期間限定で、大手外食チェーンや日本全国の飲食店と連携した「米粉を使ったメニューフェア」を開催しています。

【外部リンク】詳細はこちらから→

<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000002.000126772.html>

=====

7. 農林水産省 「全国ジビエフェア 2023」開催中

=====

農林水産省は、ジビエ（野生鳥獣肉）の普及、需要拡大に向け、「全国ジビエフェア 2023」を開催し、ジビエメニューを提供する全国の飲食店やご当地フェア等の情報を特設サイトで紹介しています。

特設サイトは、随時追加・更新され、フェア期間中も参加店舗を募集しています。

開催期間：令和5年11月1日（水曜日）から令和6年2月29日（木曜日）

【農林水産省 HP】詳細はこちらから→

<https://www.maff.go.jp/j/press/nousin/tyozyu/231026.html>

=====

8. 近畿農政局 令和5年度和食・食文化シンポジウム 「醤油からみる関西の和食・食文化」開催

=====

世の中にはたくさんの「美味しい」が溢れていますが、バランスよく彩り美しい和食にも今一度、目を向けてみませんか？

今回は関西ならではの登壇者や文化庁の方をお迎えし、和食に欠かせない「醤油」に焦点を当てながら和食の魅力にせまる、基調講演とパネルディスカッションが開催されます。

和食や食文化に興味・関心のある多くの方々の御参加をお待ちしております。

日時：令和5年11月30日（木）13時30分～16時00分（13:00開場）

場所：京都市国際交流会館（京都市営地下鉄東西線「蹴上」駅下車、2番出口より徒歩6分）

定員：50名、またはオンライン（Webex 定員：100名）

参加費：無料 ※どちらも先着順、定員になり次第締め切ります。

開催内容

< 基調講演 1 >

テーマ：「食文化と木桶・木樽」

講師：文化庁食文化推進本部事務局 参事官 大石 和男 氏

< 基調講演 2 >

テーマ：「関西の和食文化と醤油」

講師：株式会社クリエテ関西 和食専門ウェブ・マガジン「WA・TO・BI～和食の扉～」編集長（元「あまから手帖」編集長） 中本 由美子

<パネルディスカッション>

テーマ：「和食文化の保護・継承を進めるために～醤油の魅力をさぐる～」

コーディネーター：中本 由美子 氏

パネリスト：古林 万木夫 氏（ヒガシマル醤油株式会社 取締役研究所長）、高橋 義弘 氏（瓢亭 十五代目当主）、吾妻 直子 氏（株式会社大阪ガスクッキングスクール 営業部 フードコミュニケーションチーム マネジャー）

【近畿農政局 HP】詳細はこちらから→

https://www.maff.go.jp/kinki/press/keiei/tiiki_syokuhin/231030.html

=====

9. 農林水産省 令和5年度農林水産関係補正予算の概要について

=====

令和5年度農林水産関係補正予算が取りまとめて公表されましたので、お知らせします。

【農林水産省 HP】概要はこちらから→

<https://www.maff.go.jp/j/budget/r5hosei.html>

=====

10. 農林水産省 「aff」 11月号について

=====

農林水産省の広報誌「aff」11月号の特集は、海外の家畜の伝染病や植物病害虫の侵入を防ぎ、日本の畜産業や農業を守る「動物検疫・植物防疫」です。

奇数月連載の未来へつなぐ和食は、料理人野崎洋光さんに聞く「食の原点」です。

29日公開予定となっています。

【農林水産省 HP】「aff」最新号はこちらから→

<https://www.maff.go.jp/j/pr/aff/index.html>

=====

問い合わせ先：東北地域の和食文化ネットワーク事務局 東北農政局経営・事業支援部食品企業課 担当：小田桐

TEL：022-263-1111（内 4570）

メールアドレス：keisyonw-tohoku@maff.go.jp

※東北地域の和食文化メールマガジンへの御意見・御要望をお待ちしております。

★農林水産省の Web サイト（和食文化ネットワーク）→

<https://www.maff.go.jp/j/keikaku/syokubunka/network/main.html>

☆東北農政局 Web サイト（和食文化ネットワーク）→

<https://www.maff.go.jp/tohoku/syokuryou/syokubunka/washokubunkanetwork.html>